

支え合う関係・ベストパートナー

J2「昇鶴」※1のグルージャ

勝利を引き寄せる

信頼関係

いわてグルージャ盛岡

秋田豊監督



キャプテン、DF
牟田雄祐選手

「お互いに支え合いながら幸福を追求していくことができる地域社会」の実現を目指して邁進する人々の姿を紹介します。



©IWATE GRULLA MORIOKA

2022シーズンからJ2に昇格した「いわてグルージャ盛岡」。J3リーグ最終戦のアスクラ沼津との対戦では、アウエーにもかかわらず、200人以上のサポーターが応援に駆けつけ、J2昇格決定の感動を分かちあいました。

グルージャを率いる秋田豊監督は、2020年に就任してからわずか2年弱で、チームをJ2に導きました。「チームと応援してくれるサポーターの皆さんの思いが一つになった結果だと思えます」と秋田監督は話します。その監督からキャプテンマークを任せられ、チームを引っ張ってきたのが牟田雄祐選手。最終戦では、ディフェンダーでありながら劇的なゴールを決め、J2昇格を引き寄せました。秋田監督は牟田選手を「常に挑戦し続ける選手。また、ムード



秋田 豊 監督

1970年、愛知県生まれ。2020年から現職。選手として鹿島アントラーズ、名古屋グランパス、京都サンガF.C.でプレー。元日本代表。2021年J3リーグ優秀監督賞受賞。岩手の肉と魚が好き。



むた ゆうすけ
牟田 雄祐 選手

1990年、福岡県生まれ。DF。名古屋グランパス、京都サンガF.C.を経て2020年からいわてグルージャ盛岡。2021シーズンは27試合出場4得点。岩手の自然が好き。

メーカーで、チーム全体を明るくし、良い影響を与えてくれています」と高く評価。牟田選手は「監督は気さくで話しやすい人。期待に応えるため、キャプテンとしてチームが同じ方向を向くことと、一人ひとりの良さを引き出せるように努めました」と言い、チームをまとめる良いパートナーシップを見せてくれました。



©IWATE GRULLA MORIOKA

高さとスピードが持ち味。プレー中の牟田雄祐選手。

※1 グルージャはスペイン語で鶴を意味し、J2昇格への想いを字で表したものだ。

※2 いわてグルージャ盛岡のスローガン。

して間もないですが、J2に旋風を巻き起こして、岩手をもっと盛り上げたいです」と意気込みます。

これからも、県民「一岩(いちがん)※2」となって、いわてグルージャ盛岡を応援しましょう。

●取材協力
いわてグルージャ盛岡